

資 料

気象情報に基づく注意報、警報の種類と発表基準

(1) 注意報の発表基準

種 類	基 準
大雨注意報	<p>大雨によって被害が予想され、次の基準に到達することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平坦地で1時間雨量が30mm以上の場合 ○ 平坦地以外で1時間雨量が40mm以上の場合 ○ 土壌雨量指数が71以上である場合
洪水注意報	<p>洪水によって被害がおこるおそれがあると予想され、次の基準に到達することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平坦地で1時間雨量が30mm以上の場合 ○ 平坦地以外で1時間雨量が40mm以上の場合 ○ 流域雨量指数が猿ヶ石川流域(宮守)=22、猿ヶ石川流域(遠野)=15、来内川流域=6、早瀬川流域=15、小烏瀬川流域=15以上の場合
解 除	上記注意事項の必要なくなった場合は解除する。

(2) 警報の発表基準

種 類	基 準
大雨警報	<p>大雨によって重大な災害がおこるおそれがあると予想され、次の基準に到達することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平坦地で1時間雨量が50mm以上の場合 ○ 平坦地以外で1時間雨量が60mm以上の場合 ○ 土壌雨量指数が102以上である場合
洪水警報	<p>洪水によって重大な災害がおこるおそれがあると予想され、次の基準に到達することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平坦地で1時間雨量が50mm以上の場合 ○ 平坦地以外で1時間雨量が60mm以上の場合 ○ 流域雨量指数が猿ヶ石川流域(宮守)=27、猿ヶ石川流域(遠野)=24、来内川流域=8、早瀬川流域=19、小烏瀬川流域=19以上の場合
解 除	上記警報事項の必要なくなった場合は解除する。

(3) 特別警報の発表基準

種 類	基 準
大 雨 特別警報	<p>台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 48時間降雨量及び土壌雨量指数※1が50年に一度の値以上となった5km格子が、共に府県程度の広がり範囲内で50格子以上出現した場合。 ○ 3時間降水量及び土壌雨量指数※1が、50年に一度の値以上となった5km格子が、共に府県程度の広がり範囲内で10格子以上出現（ただし、3時間降水量が150mm※2以上となった格子のみをカウント対象とする。）した場合。 ○ 「伊勢湾台風」級（中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上）の台風や同程度の温帯低気圧が来襲する場合に特別警報を発表します。
解 除	上記注意事項の必要がなくなった場合は解除する。

※1 土壌雨量指数：降った雨が地下の土壌中にとどまっている状態を表す値。この値が大きいほど、土砂災害発生の危険性が高い。

※2 3時間降水量150mm：1時間50mmの雨（滝のようにゴーゴー降る、非常に激しい雨）が3時間続くことに相当。

(4) 水防活動の利用に適合する注意報、警報の種類と対応する一般の利用に適合する注意報、警報、特別警報の種類及びそれらの発表基準

水防活動の利用に適合する注意報・警報	一般の利用に適合する注意報・警報・特別警報	発表基準
水防活動用 気象注意報	大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想したとき
水防活動用 気象警報	大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき
	大雨特別警報	大雨による重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想したとき
水防活動用 洪水注意報	洪水注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき
水防活動用 洪水警報	洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき

※ 水防活動の利用に適合する（水防活動用）注意報及び警報は、指定河川洪

水注意報及び警報を除き、一般の利用に適合する注意報、警報及び特別警報をもって代える。なお、水防活動の利用に適合する特別警報は設けられていない。